

令和6年度第1回広島県地域職業能力開発促進協議会議事要旨

令和6年11月1日(金)14:00～16:00

広島合同庁舎4号館2階11号会議室

【出席者】

学識経験者	岡田 行正	広島修道大学商学部教授
事業主団体	中野 博之	広島県経営者協会専務理事
職業訓練実施者等	伊藤 丈人	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部長
〃	新山 信夫	広島県職業能力開発協会専務理事兼事務局長
〃	田中 美佐子	一般社団法人全国産業人能力開発団体連合会加盟団体代表 (株式会社ニチイ学館福山支店 プランニングマネージャー)
〃	川畑 哲郎	県立広島大学 地域基盤研究機構 准教授
〃	正本 英紀	国立大学法人愛媛大学 社会連携推進機構地域専門人材育成・ リカレント教育支援センター副センター長 准教授
職業紹介事業者等	若宮 千奈美	株式会社メイツ中国 営業本部人材紹介チーム統括マネージャー
行政機関	安部 努	中国経済産業局総務企画部参事官(産業人材政策担当)
〃	松原 茂雄	広島県教育委員会学びの変革推進部高校教育指導課教育指導 監
〃	桜木 司	広島市経済観光局次長
〃	瀧川 浩司	広島県商工労働局職業能力開発課長
〃	小沼 宏治	広島労働局長
〃	松澤 浩二	広島労働局職業安定部長

【議事次第】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 広島県地域職業能力開発促進協議会設置要綱の改訂について
 - (2) 雇用情勢
 - (3) 公的職業訓練の実施状況について
 - (4) 公的職業訓練の効果検証について
 - (5) 令和7年度公的職業訓練の実施計画策定方針(案)について
 - (6) 教育訓練給付制度の指定講座拡大について
 - (7) 職業能力の開発及び促進の向上に関する取組について
 - (8) その他
- 3 閉会

1 開会

開会にあたり、小沼広島労働局長から挨拶。

○本協議会につきましては、地域の実情や人材ニーズに即した公的職業訓練を促進するとともに、職業訓練効果を把握、検証して訓練内容の改善等に向け協議することを目的として設置され、地域の産業に必要な人材の育成を目指しております。

○職業訓練につきましては、令和5年6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2023」以降、「リスキリングによる能力向上支援」が三位一体の労働市場改革の大きな柱の一つとして位置づけられておりますので、その重要性は以前にも増して高まっているところです。

○デジタルトランスフォーメーションの進展に伴い、企業や労働者を取り巻く環境に大きな変化がもたらされる一方、労働者の職業人生の長期化が進む中で、職業訓練やリスキリング、リカレント教育を通じ、誰もが多様な業種、職種において、その能力を発揮し続けることができる社会を作っていくことが求められております。

○本日の会議では、県内の雇用情勢を踏まえた公的職業訓練の実施状況、そしてその効果検証を行った上で、次年度の公的職業訓練の実実施計画の策定方針等について説明させていただき、ご意見を頂戴することとしております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場、ご知見等を踏まえまして、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

2 議題

(1) 広島県地域職業能力開発促進協議会設置要綱の改訂について

○事務局から「広島県地域職業能力開発促進協議会設置要綱改訂(案)」を提案し、当該案が了承された。

(2) 雇用情勢について

○広島労働局から県内の雇用情勢の説明。

○株式会社メイツ中国から民間職業紹介の雇用情勢について説明。

(3) 公的職業訓練の実施状況について

○事務局から、令和5年度及び令和6年度の公的職業訓練の実施状況について説明。

(4) 公的職業訓練の効果検証について

○事務局から、公的職業訓練効果検証ワーキンググループの実施状況等について説明。

(5) 令和7年度公的職業訓練の実実施計画策定方針(案)について

○事務局から「デジタル分野、人手不足分野(介護福祉分野)、地域ニーズを反映させた分野(ものづくり分野)を重点分野として実施する」等を内容とする「令和7年度広島県地域職業訓練実施計画の策定方針(案)」を提案し、当該案が了承された。

(6) 教育訓練給付制度の指定講座拡大について

○事務局から、前協議会での意見を踏まえた指定講座拡大等について説明。

(7)職業能力の開発及び促進の向上に関する取組について

- 事務局から、広島県における「地域リスキリング推進事業の進捗状況等」について説明。
- 中国経済産業局から「デジタル人材育成に向けた取組」について説明。
- 愛媛大学から「しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム及び地域共創型リカレントプログラム」について説明。

3 閉会

閉会にあたり、澁川広島県商工労働局職業能力開発課長から挨拶。

○皆様方からいただきましたご意見を踏まえて、県内の産業や求職者ニーズに的確に対応し、訓練修了生が着実に就職に結びつくよう、次年度の地域職業訓練実施計画の策定に向けて準備を進めてまいります。

○少子高齢化に伴う人材不足やDXの進展等により、労働者を取り巻く環境は急速に変化しており、職業能力開発の重要性はますます高まっていくところでございます。広島県におきましても、関係機関の皆様方と連携しながら、こうした変化に即応するため、訓練メニューや体制の見直しを強化するなど、これから取組を進めていく必要があると考えております。

○本協議会を通じて、広島で働いてよかったと心から思える広島県の実現に向け、皆様には今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【各委員からの主な意見等】

議題(4) 公的職業訓練の効果検証について

○全体的には、協力していただきながら充実した内容で取り組んでいただいているので、今年度下半期、7年度についても、引き続いて実施していただければと思っています。また、可能であれば、企業の担当者が無料でセミナー等に参加できる機会を設けていただければと思います。中身的には良いものであっても、企業自体がその中身的なものを欲しているのかどうか、少々問題があるのかなど。実際に参加された担当者が、私どもの企業では、ここについては、こういった部分が必要なだけけれど、というような部分が出てくるのではないかと思うので、より良い中身にしていくためにも、そういった担当者呼んでセミナーへ参加してもらうようなチャレンジが必要なかと思っています。

議題(5) 令和7年度公的職業訓練の実施計画策定方針(案)について

○重点分野・地域ニーズ分野として、本県の得意とする「ものづくり分野」を入れるという説明がございましたが、大いに賛成でございます。実際には、就職した後に、その就職先で訓練をするということが重要になってきますので、施設内訓練が直接そういった就職後の役に立つかというのは、企業によって違いがあるかと思えます。また、当協会では技能検定というものを実施しておりまして、ものづくりの関係が多く、受検者は減少傾向が続いていたところ、今年度は回復といいますか、前年度と同程度ということで減少傾向に歯止めがかかったという感じになっております。今回、そのものづくりを重点にされるということで、検定でも色々問題があるのですが、実際に企業へ入ってからやる作業と、検定で評価をする時のやり方というのは、実際に違いがあってですね、今回の技能を習得するための訓練についても、実際に会社の方でどういったやり方をしていくのかということを確認したうえで、その訓練内容を決めるといった流れにするなど、実際に入った後に役立つような形での訓練をお願いしたいと思います。いわゆるニーズに応じた、実際の現場に応じた内容という

ところは、技能検定にも反映できればというのが私の感想です。

○介護業界の分野では、やはり問題は人材の高齢化というところですか。管理者クラスにおいては60代、非常勤のヘルパーさんにおいては、75歳位の方も頑張ってくださいという時代となっています。その上で次世代の採用、育成、定着というところが課題なのかなと思っています。採用時等の現状におきまして、実際の現場のヘルパーさんに行ってもらって、本当の現状をよくわかってもらう、グループホームであるとか多くを見学してもらい、力を入れさせてもらっており、皆さんによく理解をしていただいたうえで現場に出てもらい、長く勤めてもらえるように見直しを図っているところです。

○現在、ものづくり系技術者の転職支援をしているのですが、私たちが得意としている営業系とか、管理系職種の人材と比べて、二次受け・三次受けのようなところにおいては、就業状況ですね、本当に厳しい環境が多く、そういう人材を大切に育て、自社で育成していくとともに、企業側の受入体制や待遇等、そこも並行して進めていかなければと思います。

議題(7) 職業能力の開発及び促進の向上に関する取組について

○募集定員を割ってしまう公開講座等があるため、集客、特に誰を対象にし、どのように呼び込んでいくかというところに課題があると感じています。

議題(8) その他

○離職者訓練、求職者支援訓練というのは、やはり人手不足の中ではなかなか人が集まりにくいという現状があります。一方、多くの企業が利用する在職者訓練は非常に好調だということを考えてみますと、いわゆるリスキリングという風潮は確実に進んでいると思われれます。ただ、ここ数ヶ月の動向として、求人数が若干目減りしており、原因は労務費や物価高騰の問題なんかが関係しているのではないかと。本日の令和6年度の実績状況についての説明等では、こういう傾向が出てきていない、むしろ、その求人数が非常に多かったというところでの動きで、いかに教育訓練を進めていくのか、離職者訓練を進めていくのかということ。さらに、離職者・求職者が求めている教育内容、それらにどのように対応していくかということをやってきたわけで、次年度の実施計画策定方針(案)についてご了承いただきましたけれども、今後はですね、求人数がどう風に変化していくのか、依然として物価高騰は続いている中、現状は人手不足ですが、この状況がどうなっていくのかということを見据えながら、この協議会、つまり広島県の地域ならではの職業訓練のあり方ということについて検討し、しっかり進めていただきたいと思います。

【問い合わせ先】

広島労働局職業安定部訓練課 (TEL082-502-7831)

広島県商工労働局職業能力開発課 (TEL082-513-3432)